

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【公開番号】特開 2006-76225 (P2006-76225A)  
 【公開日】平成 18 年 3 月 23 日 (2006.3.23)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-012  
 【出願番号】特願 2004-264924 (P2004-264924)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 J 19/04 (2006.01)**

**B 4 1 J 19/06 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 19/04

B 4 1 J 19/06

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 9 月 10 日 (2007.9.10)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録ヘッドが搭載されている搭載部を備え、前記記録ヘッドにより記録するために、前記搭載部が駆動源の動力を伝達する無端ベルトを有する前記移動手段と連結されて記録領域を往復移動するキャリッジであって、

前記移動手段は結合部を備え、

前記搭載部と前記結合部とを非線形の弾性を有する連結手段を介して連結したことを特徴とするキャリッジ。

【請求項 2】

前記連結手段は、移動時に発生する振れの大きさに対応して弾性が変化することを特徴とする請求項 1 に記載のキャリッジ。

【請求項 3】

前記連結手段は、線形の弾性を有する線形弾性部材と、前記線形弾性部材の変位を規制する規制部材とを有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のキャリッジ。

【請求項 4】

前記線形弾性部材と前記規制部材の間に隙間を設けたことを特徴とする請求項 3 に記載のキャリッジ。

【請求項 5】

前記連結手段は、バネ部材であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のキャリッジ。

【請求項 6】

記録媒体に記録する記録装置であって、

請求項 1 ～ 5 の何れか一項に記載のキャリッジを備えたことを特徴とする記録装置。

【請求項 7】

被噴射媒体に液体を噴射する液体噴射装置であって、

請求項 1 ～ 5 の何れか一項に記載のキャリッジを備えたことを特徴とする液体噴射装置

。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

記録ヘッドが搭載されている搭載部を備え、前記記録ヘッドにより記録するために、前記搭載部が駆動源の動力を伝達する無端ベルトを有する前記移動手段と連結されて記録領域を往復移動するキャリッジであって、前記移動手段は結合部を備え、前記搭載部と前記結合部とを非線形の弾性を有する連結手段を介して連結したことを特徴としている。これにより、キャリッジ振動の振幅レベルの小さなストロークにおいては弱く働き、キャリッジ加減速時の大きなストロークにおいては強く働いてキャリッジの位置制御性が高まるので、記録ヘッドの記録精度を高精度な状態に維持することができる。